

# 全国の感染状況

## 都道府県別 感染者数の状況（直近1週間）

11月23日 現在

ステージⅣ相当(対人口10万人 25人以上)  
 ステージⅢ相当(対人口10万人 15人以上)  
 対人口10万人 10人以上

単位：人

順位	都道府県名	11月17日 ～ 11月23日 の感染者数	人口10万人 当たり感染者 数
1	岡山県	49	2.59
2	北海道	134	2.55
3	大阪府	125	1.42
4	福岡県	64	1.25
5	神奈川県	111	1.21
6	京都府	27	1.05
7	群馬県	20	1.03
8	東京都	122	0.88
9	埼玉県	48	0.65
10	兵庫県	33	0.60
11	愛知県	45	0.60
12	滋賀県	8	0.57
13	奈良県	7	0.53
14	栃木県	10	0.52
15	沖縄県	7	0.48
16	新潟県	9	0.40

順位	都道府県名	11月17日 ～ 11月23日 の感染者数	人口10万人 当たり感染者 数
17	広島県	11	0.39
18	茨城県	11	0.38
19	岐阜県	7	0.35
20	千葉県	20	0.32
21	山形県	3	0.28
22	三重県	3	0.17
23	静岡県	6	0.16
24	山口県	2	0.15
25	宮城県	3	0.13
26	佐賀県	1	0.12
27	和歌山県	1	0.11
28	石川県	1	0.09
29	長崎県	1	0.08
30	愛媛県	1	0.07
31	鹿児島県	1	0.06
32	福島県	1	0.05

順位	都道府県名	11月17日 ～ 11月23日 の感染者数	人口10万人 当たり感染者 数
33	青森県	0	0.00
33	岩手県	0	0.00
33	秋田県	0	0.00
33	富山県	0	0.00
33	福井県	0	0.00
33	山梨県	0	0.00
33	長野県	0	0.00
33	鳥取県	0	0.00
33	島根県	0	0.00
33	徳島県	0	0.00
33	香川県	0	0.00
33	高知県	0	0.00
33	熊本県	0	0.00
33	大分県	0	0.00
33	宮崎県	0	0.00
計		892	

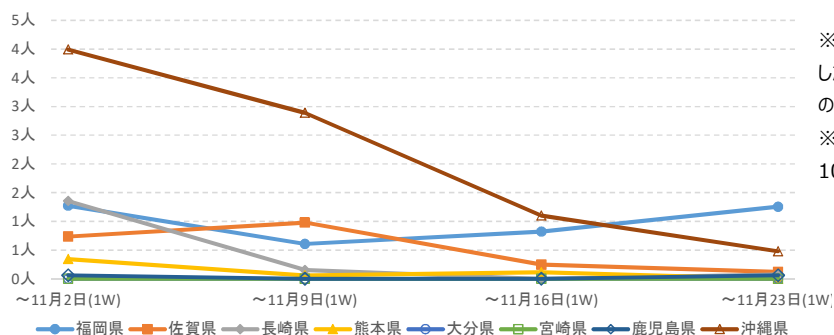
※本県以外の感染者数は厚生労働省が公表したデータから本県で算定・集計。（各自治体の時点公表数等と異なる場合あり）  
 人口は「人口推計（2019年（令和元年）10月1日現在）」（総務省統計局）を使用。

## 九州各県 感染者数の状況（直近1週間）

ステージⅣ相当(対人口10万人 25人以上)  
 ステージⅢ相当(対人口10万人 15人以上)  
 対人口10万人 10人以上

単位：人

	人口	10月27日～11月2日		11月3日～11月9日		11月10日～11月16日		11月17日～11月23日	
		感染者数	対人口10万人	感染者数	対人口10万人	感染者数	対人口10万人	感染者数	対人口10万人
福岡県	5,104	65	1.27	31	0.61	42	0.82	64	1.25
佐賀県	815	6	0.74	8	0.98	2	0.25	1	0.12
長崎県	1,327	18	1.36	2	0.15	0	0.00	1	0.08
熊本県	1,748	6	0.34	1	0.06	2	0.11	0	0.00
大分県	1,135	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
宮崎県	1,073	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島県	1,602	1	0.06	0	0.00	0	0.00	1	0.06
沖縄県	1,453	58	3.99	42	2.89	16	1.10	7	0.48

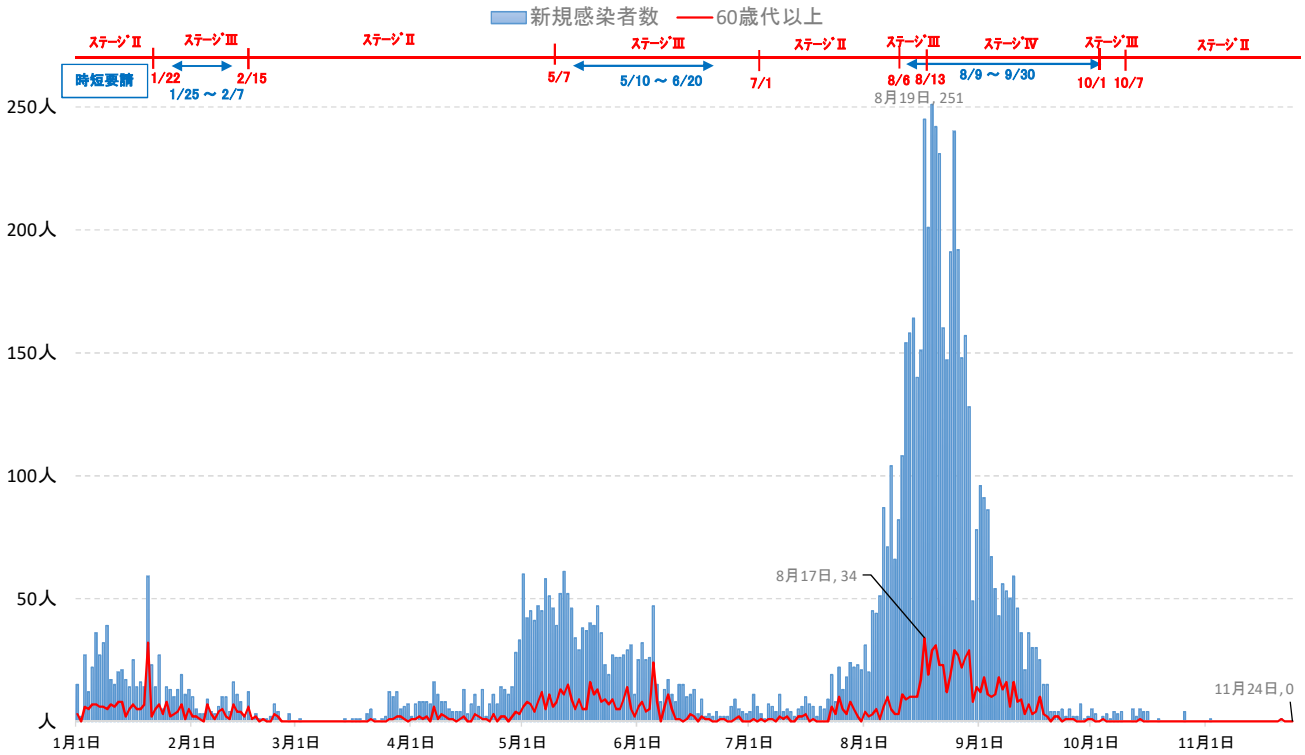


※本県以外の感染者数は厚生労働省が公表したデータから本県で算定・集計。（各自治体の時点公表数等と異なる場合あり）  
 ※人口は「人口推計（2019年（令和元年）10月1日現在）」（総務省統計局）を使用。

# 県内の感染状況

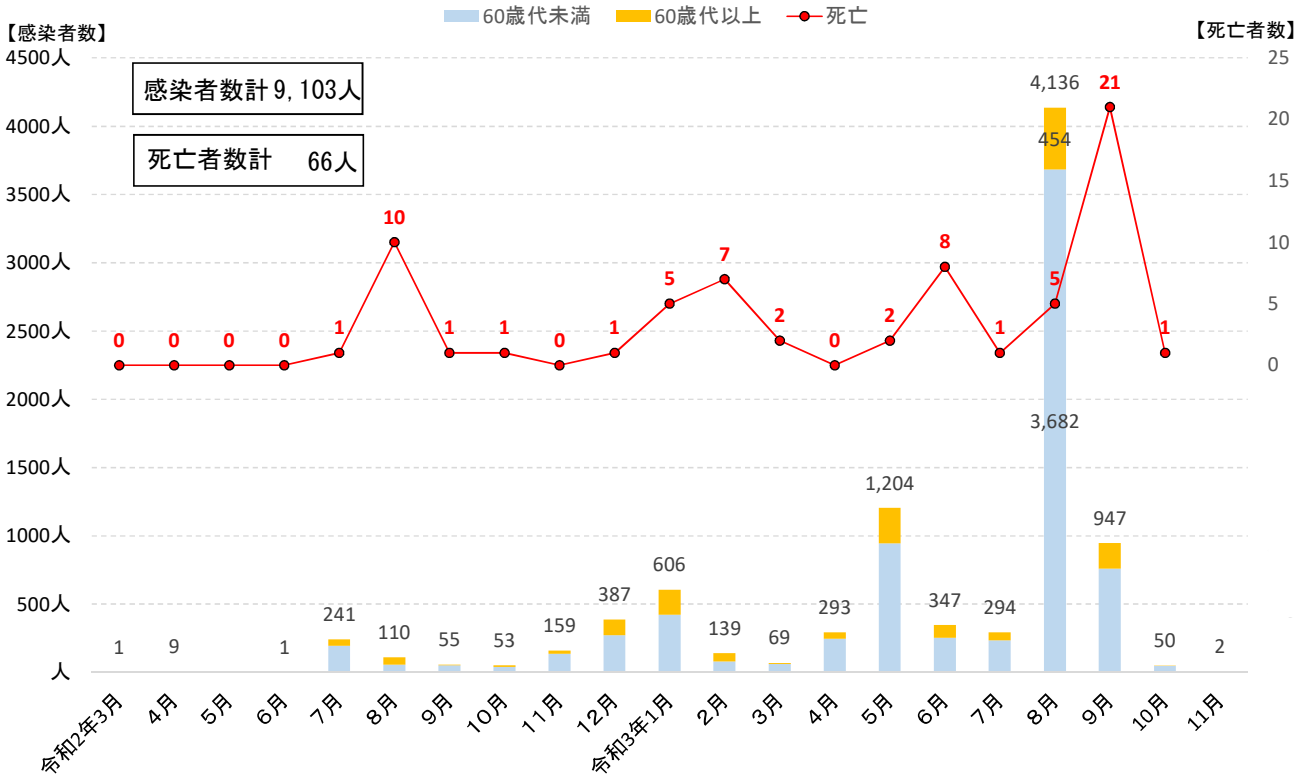
県内の感染者数の推移(令和3年1月以降)

令和3年11月24日



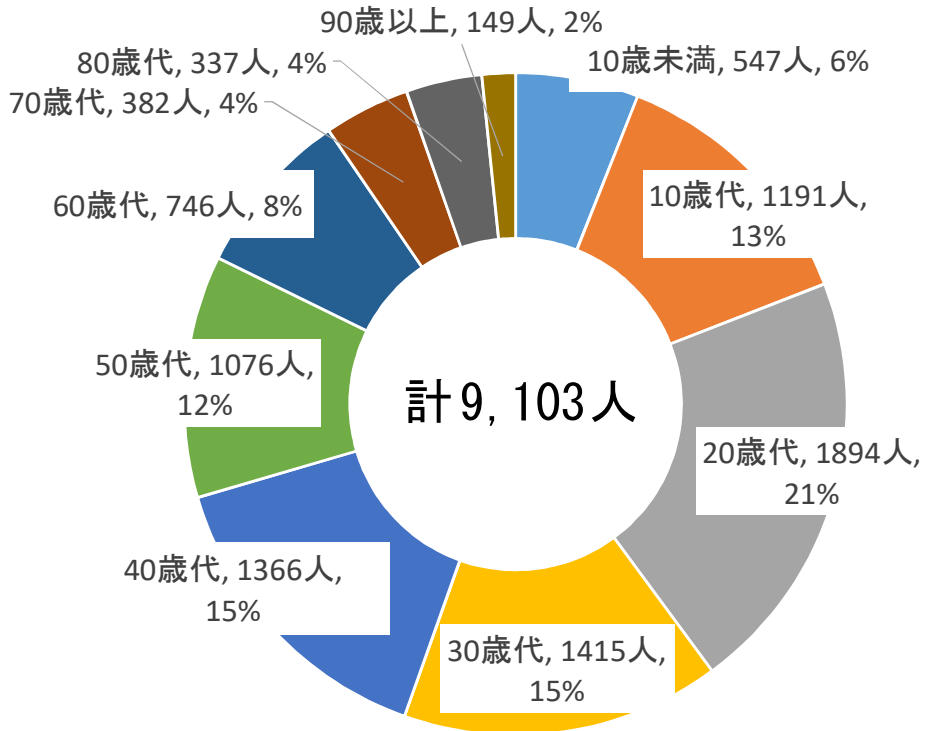
県内の感染者数の推移(月別)

令和3年11月24日



### 県内の感染者発生状況(年代別)

令和3年11月24日



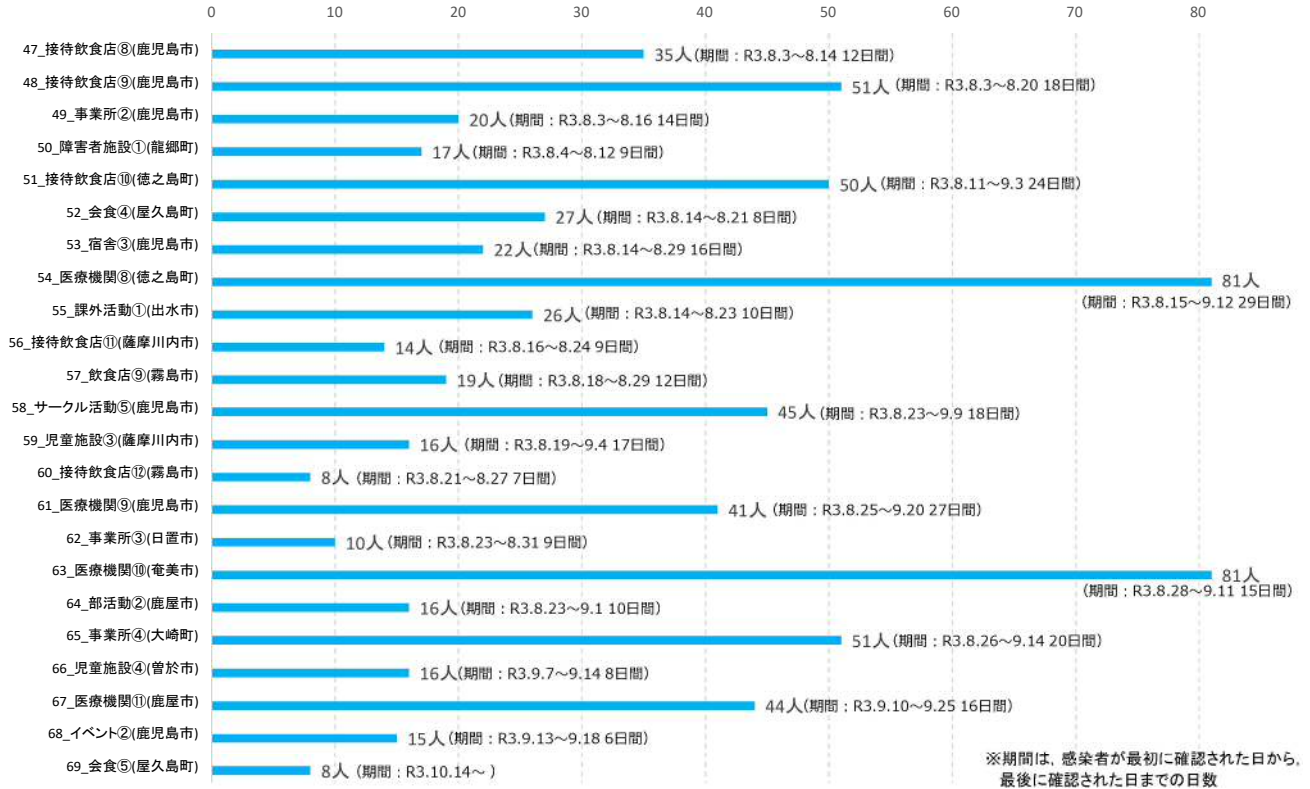
### 県内の感染者発生状況(居住地別)

11月24日

順位	市町村名等	感染者数(人)	順位	市町村名等	感染者数(人)	順位	市町村名等	感染者数(人)
1	鹿児島市	4620	26	瀬戸内町	49	52	非公表	5
2	霧島市	635	28	阿久根市	47	54	沖縄県	4
3	鹿屋市	415	29	天城町	44	55	茨城県	3
4	奄美市	412	30	東京都	40	55	山口県	3
5	姶良市	287	31	さつま町	33	57	滋賀県	2
6	薩摩川内市	236	31	肝付町	33	57	岡山県	2
7	出水市	227	33	大阪府	29	57	海外	2
8	徳之島町	183	34	神奈川県	26	57	奈良県	2
9	与論町	163	35	知名町	24	57	長崎県	2
10	指宿市	139	36	和泊町	20	57	大分県	2
11	日置市	132	37	宮崎県	18	63	北海道	1
12	垂水市	103	38	愛知県	15	63	山梨県	1
13	伊佐市	100	39	南大隅町	14	63	三重県	1
14	志布志市	96	40	湧水町	13	63	栃木県	1
15	曾於市	95	40	熊本県	13	63	岩手県	1
16	喜界町	94	42	錦江町	12	63	和歌山県	1
17	大崎町	80	42	南種子町	12	63	秋田県	1
18	伊仙町	74	44	中種子町	11	63	愛媛県	1
19	屋久島町	65	44	千葉県	11	71	三島村	
20	いちき串木野市	62	46	兵庫県	10	71	十島村	
21	南さつま市	59	46	埼玉県	10	71	宇検村	
21	龍郷町	59	48	長島町	9			
23	西之表市	58	48	京都府	9			
24	福岡県	52	50	東串良町	8			
25	南九州市	51	51	大和村	7			
26	枕崎市	49	52	広島県	5			
						合計		9,103

【令和3年8月以降】県内の感染者発生状況(クラスター別)

令和3年11月24日



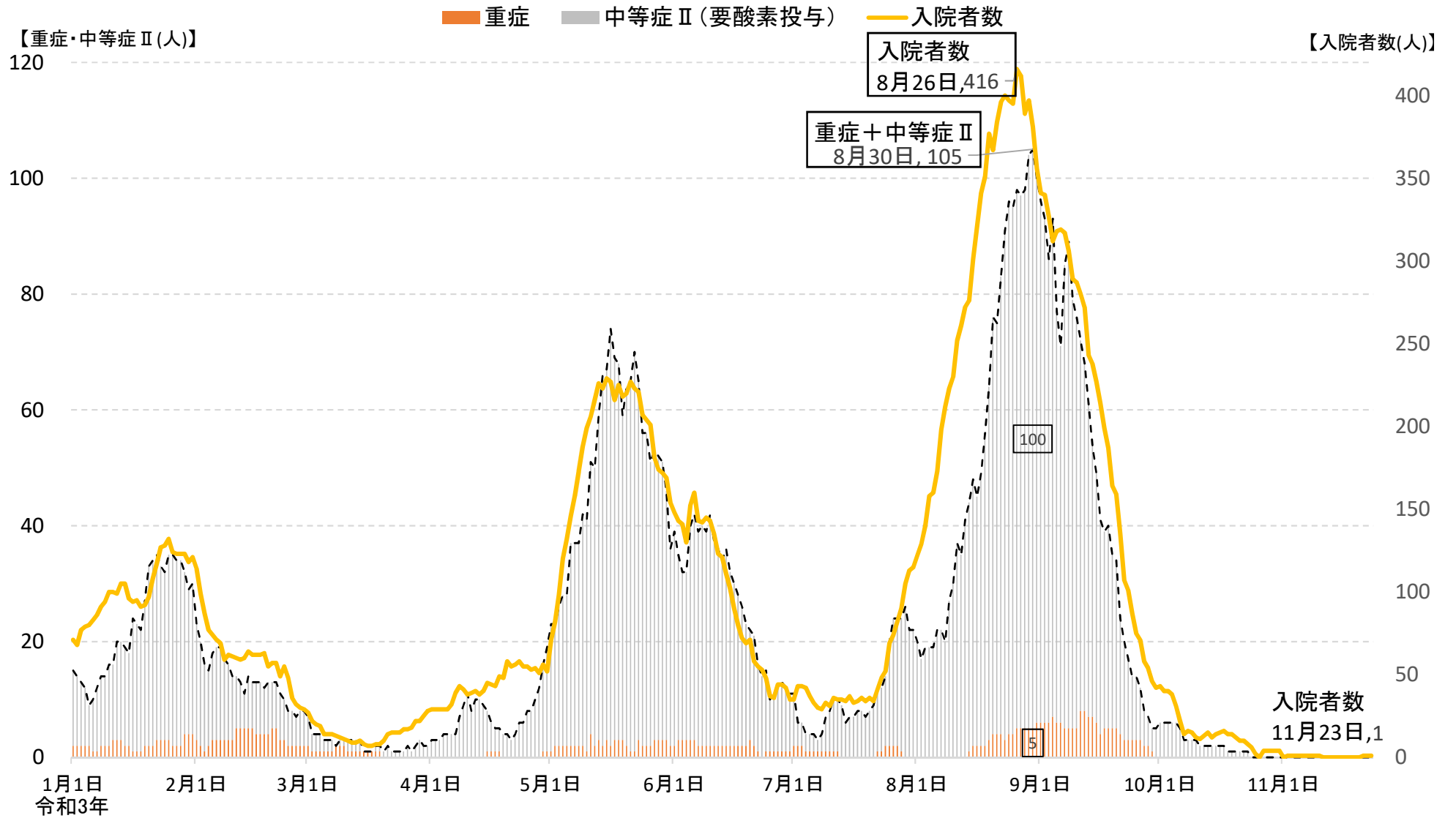
クラスター発生状況

令和3年11月24日

クラスター種別	件数	人数	割合(人数)
飲食店	9	321	16.0%
接待飲食店	12	490	24.4%
医療機関	11	440	21.9%
サークル活動等	10	227	11.3%
高齢者施設	4	109	5.4%
児童施設	4	74	3.7%
会食	5	81	4.0%
介護事業所	2	22	1.1%
宿舎	3	43	2.1%
会合	1	32	1.6%
学校	1	28	1.4%
事業所	4	101	5.0%
児童福祉施設	1	17	0.8%
介護施設	1	9	0.4%
障害者施設	1	17	0.8%
合計	69	2011	100.0%

# 入院患者 重症度別内訳(中等症Ⅱ以上)

令和3年11月23日



# 鹿児島県内における変異株の状況について(11月12日時点)

## 1 変異株スクリーニング検査(県環境保健センター) 「6/11以降L452R対象分」

陽性判明日	①期間中の感染者数	②変異株検査実施数	③変異株陽性数	陽性率	
				L452R	(③/②)
6/11~17	75	86	0	0	0.0%
6/18~24	24	24	0	0	0.0%
6/25~7/1	33	24	11	11	45.8%
7/2~8	38	34	24	24	70.6%
7/9~15	37	28	20	20	71.4%
7/16~20	31	31	15	15	48.4%
7/21~29	140	105	65	65	61.9%
7/30~8/5	235	157	119	119	75.8%
8/6~12	672	255	210	210	82.4%
8/13~19	1311	332	311	311	93.7%
8/20~26	1403	489	466	466	95.3%
8/27~9/2	747	176	165	165	93.8%
9/3~9	409	165	161	161	97.6%
9/10~16	258	134	127	127	94.8%
9/17~23	72	94	94	94	100.0%
9/24~30	21	135	132	132	97.8%
10/1~7	18	177	176	176	99.4%
10/8~14	19	256	254	254	99.2%
10/15~21	9	96	92	92	95.8%
<b>合計</b>	<b>5,552</b>	<b>2,798</b>	<b>2,442</b>	<b>2,442</b>	<b>87.3%</b>

※ 令和3年10月25日付の厚生労働省通知に基づき、今後L452R変異株PCR検査は実施しない。

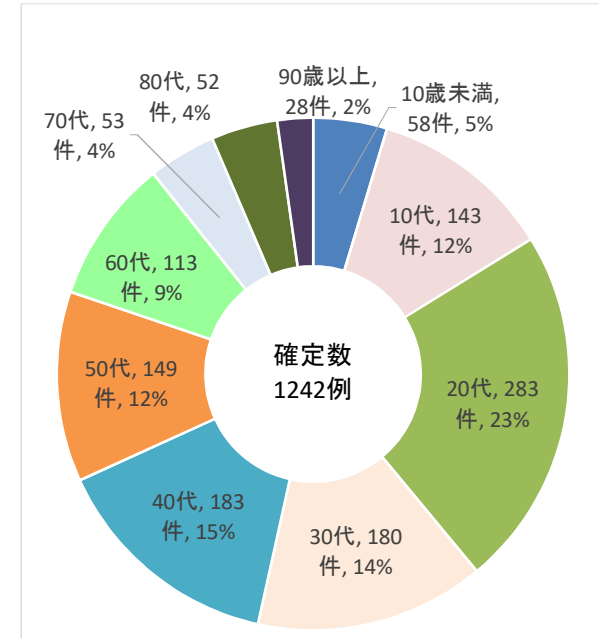
## 2 ゲノム解析による確定数 (国立感染症研究所, 県環境保健センター)

ゲノム解析日	確定数(呼称) 【最初に確認された国】	VOC				VOI
		B. 1. 1. 7 (アルファ株) 【英国】	B. 1. 351 (ベータ株) 【南アフリカ】	P. 1 (ガンマ株) 【ブラジル】	B. 1. 617. 2 (デルタ株) 【インド】	
~6/10	545	465	0	0	3	77
6/11~17	100	82	0	0	0	18
6/18~24	46	44	0	0	0	2
6/25~7/1	24	15	0	0	8	1
7/2~8	16	4	0	0	12	0
7/9~15	21	0	0	0	21	0
7/16~29	21	2	0	0	19	0
7/30~8/5	24	0	0	0	24	0
8/6~12	35	21	0	0	14	0
8/13~19	23	1	0	0	22	0
8/20~9/2	49	0	0	0	49	0
9/3~9/9	47	2	0	0	45	0
9/10~9/16	49	1	0	0	48	0
9/17~9/30	41	0	0	0	41	0
10/1~10/14	91	1	0	0	90	0
10/15~10/21	45	0	0	0	45	0
10/22~10/29	24	0	0	0	24	0
10/30~11/4	19	0	0	0	19	0
11/5~11/11	23	0	0	0	23	0
<b>合計</b>	<b>1,243</b>	<b>638</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>507</b>	<b>98</b>

※1 デルタ株のうち1例は、ゲノム確定はしていないが、同一の感染経路としてデルタ株(B.1.617.2)と判断

※2 VOC: 懸念される変異株, VOI: 注目すべき変異株

## 3 ゲノム解析による確定数に係る年代別割合





# 感染拡大の警戒基準

# 感染拡大の警戒基準 モニタリング

ステージ	Ⅱ
病床フェーズ	Ⅰ

11月23日  
現在

	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日	11月22日	11月23日	ステージⅢの指標	ステージⅣの指標
①-1 最大確保病床の使用率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	1床 ÷ 477床 0.2%	20%以上	50%以上
①-2 医療提供体制 入院率※1 (適用なし)	-	-	-	-	-	-	-	40%以下	25%以下
①-3 重症者用の 最大確保病床の 使用率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0床 ÷ 34床 0.0%	20%以上	50%以上
② 療養者数 (人口10万人当たり)	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.1人	0.1人	1人 × 100,000人 / 1,601,711人 0.1人	20人以上	30人以上
③ 監視体制 PCR陽性率 (直近1週間)	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	1人 ÷ 679人 0.1%	5%以上	10%以上
④ 感染状況 新規陽性者数 (人口10万人当たり) (直近1週間)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.06人	0.06人	1人 × 100,000人 / 1,601,711人 0.06人	15人以上	25人以上
⑤ 感染経路不明な 感染者の割合 (直近1週間)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	1人 ÷ 1人 100.0%	50%以上	50%以上

参考	直近1週間と 先週1週間の 新規陽性者数の比較	同数	同数	同数	同数	増加	増加	増加	1人 - 0人 = 1人
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1人 ÷ 0人 = 0.00

参考	新規陽性者数 (当該日のみ)	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
----	-------------------	----	----	----	----	----	----	----

※1 入院率については、次のいずれも満たす場合に適用  
 ① 人口10万人当たり療養者数が10人以上の場合  
 ② 新規陽性者が、発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定されず、かつ入院が必要となる者が同日までに入院していない場合  
 ※2 人口は「人口推計（2019年10月1日現在）」（総務省統計局）を使用  
 ※3 病床数、病床フェーズは、鹿児島県病床確保計画を使用

# 鹿児島県における感染拡大の警戒基準

令和2年8月25日（令和3年6月4日変更）  
新型コロナウイルス感染症対策室

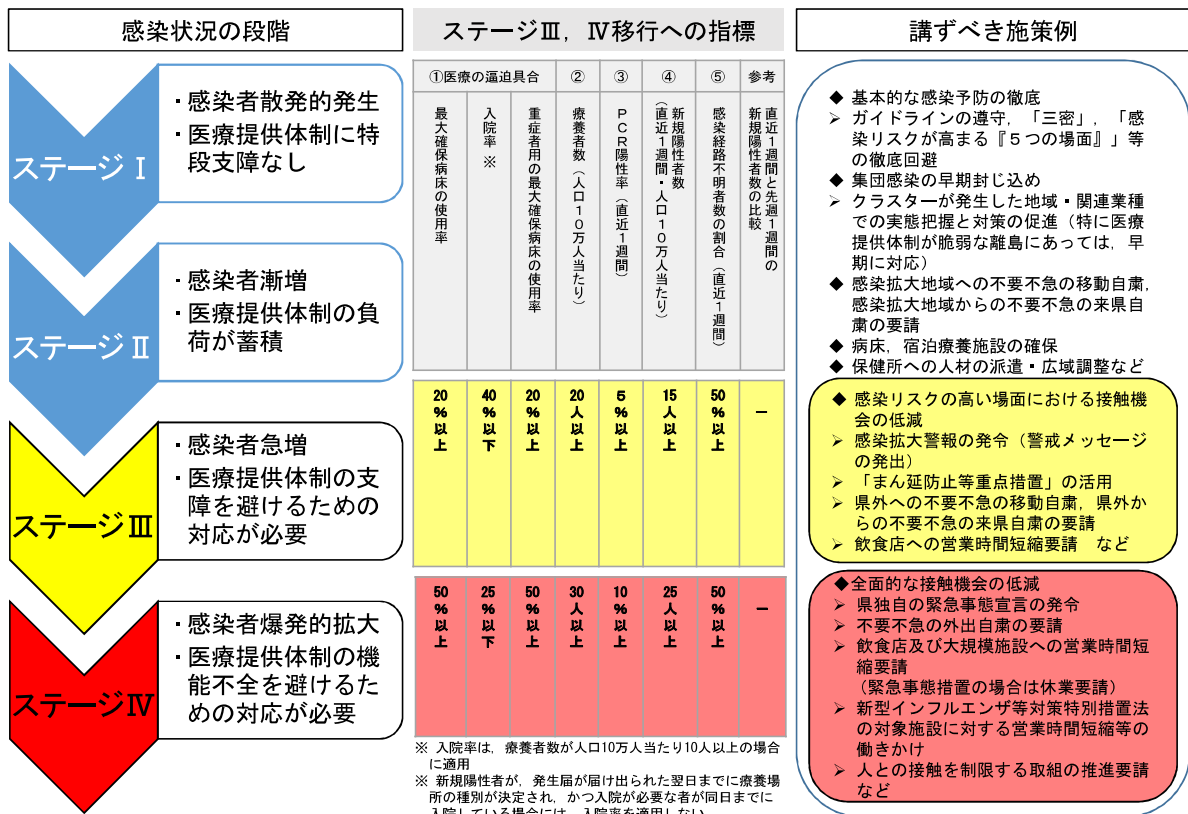
## 1 主旨

- 新型コロナウイルス感染症対策については、医療・公衆衛生において、①十分に制御可能なレベルに感染を抑制し、死亡者・重症者数を最小化する、②感染レベルをなるべく早期に減少に転じさせる、ことに取り組んだ上で、経済との両立を図ることが重要である。
- このため、感染状況等を継続的に監視し、その変化が見られた場合、県民に対して適切に情報提供を行い、感染拡大への警戒を呼びかけるとともに、感染状況の変化等に応じて、外出自粛や休業等の協力要請を検討するなど、県民に対して、「本県の感染状況や対策等の見える化」（警戒基準の設定）を図るものである。

## 2 警戒基準

- 感染及び医療提供体制の状況に応じて、ステージⅠからⅣを設定。
- ステージの判断に当たっては、医療提供体制等の負荷、感染の状況からなる5つの指標に加え、「直近1週間と先週1週間の新規陽性者数の比較」等を参考に、専門家の意見も考慮した上で、特に社会的な基盤である医療提供体制を確保する点を重視して、総合的に判断する。
- 各ステージにおいて取り組むべき施策については、基本的な感染予防の徹底、集団感染の早期封じ込めなど、専門家の意見も踏まえ、総合的に判断する。
- 特に、本県は多くの有人離島を有しており、離島においては医療提供体制が脆弱であることから、ステージⅠ及びⅡの段階であっても、ステージⅢで講ずべき施策の一部をエリア限定で実施する場合も含め、離島の特殊性を踏まえて、総合的に判断する。

## 感染拡大の警戒基準 全体図



ワクチン

## ワクチン接種について

### 1 ワクチン接種実績

全人口に対する1回目接種率78.49%、2回目接種率が75.51% (11月22日公表時点)

	総接種回数	内1回目接種数	内2回目接種数	1回目接種率	2回目接種率
本県	2,491,032	1,269,662	1,221,370	78.49%	75.51%
全国	195,058,246	98,976,682	96,081,564	78.15%	75.87%

注: 接種率の計算に用いる人口データは令和3年1月1日現在の住民基本台帳に基づくもの

・希望する全ての県民が11月末までに接種を終えられるよう、引き続き、市町村、関係団体、医療機関等と連携を図りながら、円滑な接種に取り組む。

### 2 ワクチン追加接種（3回目接種）

・追加接種については、2回目接種完了から、概ね8か月以降に、追加接種対象者のうち、接種を希望する全ての方が追加接種を受けられるよう、体制を確保する。

・追加接種に使用するワクチンについては、1回目・2回目に用いたワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチンを用いることが適当。

・医療従事者や高齢者等を対象に12月から接種が始まる予定。

・12月1月接種に使用するワクチンについては、11月中に約7万5千人分のワクチンが配送される。

### 3 アストラゼネカ社ワクチン接種の実施

ポリエチレングリコールに対するアレルギー等によりmRNAワクチン(ファイザー社、モデルナ社)を接種できない方などを対象にアストラゼネカ社ワクチンの接種会場を設置する。

(1) 接種場所

鹿児島市立病院

(2) 接種日時

第1次接種：10月2日、11月27日

第2次接種：11月27日、1月22日

※ワクチンの最大の効果を得るため、1回目接種から2回目接種までの接種間隔は、8週間とする。

(3) 対象者

接種券をお持ちの鹿児島県在住者で以下の要件に該当する方

- ① ポリエチレングリコールに対するアレルギー等でmRNAワクチンを接種できない18歳以上の方
- ② 海外でアストラゼネカ社ワクチンを1回接種済みの18歳以上の方
- ③ 40歳以上の方で、他の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けておらず、アストラゼネカ社のワクチン接種を希望する方